

株式会社 ツバメックス

DX宣言書

2024年12月4日
株式会社 ツバメックス
代表取締役 出口 次男

□ 経営理念

常に人々の健康の増進と生活文化の向上に奉仕する

□ DXビジョン(2~3年後にありたい姿)

- ◆ 若手人材の採用と次世代への技術継承に力を入れ、事業拡大を目指します
- ◆ デジタル技術を活用して品質向上を図り、お客さまに満足いただける会社を目指します

□ DX戦略・施策

➤ フェーズ1(現在 ~ 2025年6月)

戦略 「更なる業務効率化に向けた下準備の実施」

- 施策
- ・ 全社的なITリテラシーレベルを把握し、その結果を基に施策(勉強会や資格取得)を計画
 - ・ ダイナミック・ケイパビリティ(企業変革力)の強化を図るため、5Gネットワーク環境の構築を計画
 - ・ 熟練者から若手への知識の継承を行うため、既存の電子マニュアルを再評価し、若手社員がマニュアル内容についてフィードバックできる体制を構築

➤ フェーズ2(2025年7月 ~ 2026年7月)

戦略 「全社的なDX推進の実施と、採用活動の強化」

- 施策
- ・ フェーズ1にて計画した施策を実行
(ITリテラシー勉強会の実施、5Gネットワーク環境の構築)
 - ・ SNSを活用した採用活動を強化
(例:DXを含めた当社の魅力を会社ホームページやSNSで社外に広く発信)

➤ フェーズ3(2026年8月 ~ 2027年12月)

戦略 「デジタル技術の活用を拡大し、新たな付加価値を創出」

- 施策
- ・ 社内ノウハウを活用し、地域の事業者さまへのDX支援に向けた取り組みを検討
(例:金型産業全体の持続的成長を牽引するため、当社のDX取組事例を発信)
 - ・ 各部署の業務プロセスにおいて、更なる業務効率化に向けた取り組みを検討
 - 加工部:生産状況の見える化を図るため、加工機の稼働モニタリングシステムを構築
 - 金型部:セカンドレベルへの向上を図るため、自社開発の金型設計支援システム「TADD」の見直しを実施

□ DX推進体制

- ・ DX推進プロジェクトを設置し、代表取締役を実務執行統括責任者とします
- ・ DX推進チームがDX戦略実行の中心的役割を担います

□ DX推進目標

- ・ 製品の品質向上と納期遵守による顧客満足度の向上 : 20%以上(~2027年12月)